

# マッハワン・フリップダウンモニター取付キット 取扱説明

この度は、「マッハワン・フリップダウンモニター取付キット」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用・お取付の前に、この取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使い・お取付ください。  
お読みになられましたら、必ず保管してください。取付される方が、ご本人様以外の場合は、必ずご本人様に  
この本紙を熟読頂き、本件(下記内容)をご理解の上、取付をお願いいたします。

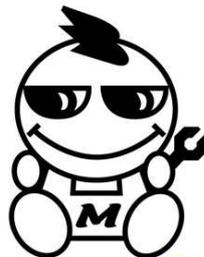
## 取付にあたってのご注意点です。必ずお守りください。

### ⚠警告

- 本製品は、指定のモニター以外を装着したり、指定以外の車両に装着することはおやめください。  
事故・破損の原因になります。
- 改造・加工をしないで下さい。事故・破損の原因になります。
- ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところでの保管をお願いします。
- 上記に関して事故等が発生いたしましても、弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

### ⚠注意

- 説明書に従い正しく取付して下さい。取付を誤ると、車両の故障や、破損をまねく恐れがあります。
- 付属の説明書はモニター本体の固定方法、及びモニター用ルームランプ線の取付に関する説明書です。
- モニターの結線等につきましては、モニターの説明書にてご確認ください。
- しばらく走行した後に、各部のネジの緩みが無いか確認してください。
- この商品は天井内装部を加工します。取外し後は加工後が残ります。
- 取付には、工具と、専門技術、経験が必要になります。  
不安な方は、プロショップ・専門店・お買い上げ店に作業依頼頂く事をお勧めします。
- 穴あけ作業の伴う場合は、貫通した際に、他の場所に傷をつけないように十分注意してください。
- 説明書に従って、加工及び取付を行ってください。説明書に指示を守らなかったことによる車両部品の破損・ケガ等に対しましては、当店は一切の責任を負いませんのでご了承ください。



**Mach-1**

株式会社マッハワン

〒607-8031 京都市山科区四ノ宮鎌手町60-3

TEL:075-501-8050 FAX:075-501-8053

URL:<http://www.mach-1jp.com> MAIL:[info@mach-1jp.com](mailto:info@mach-1jp.com)

# 200系ハイエース ハイルーフ車 ALPINE 11.4インチ リアビジョン取付説明書

## 構成部品



ブラケットA



M6タッピング&ワッシャー



M6ボルト&ワッシャー



スペーサー



M4X20ボルト

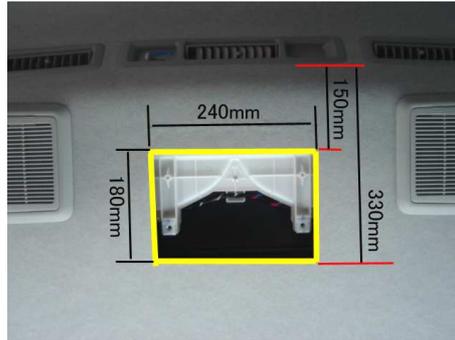
## 取付説明 下記写真で確認しながら作業を進めてください。

- (写真①)リアエアコンユニットの中央部付の天井ライニングをカッターでカットします。  
(写真②)カット位置はリアエアコンコントロールパネルから車両前方150mmの所に車両中心から縦180mmX横240mmです。(写真の写りでは台形に見えますが、実際は長方形です。)  
(写真③)カットしたところです。天井内リアエアコンユニットが見えます。  
(写真④)車両前方側のスピードナット部(黄色丸印)はM6ボルト&ワッシャーを使用し、車両後方側のプラスチック部はM6タッピング&ワッシャーを使用してブラケットAを取付します。車種・グレード・年式により黄色印部に、写真と同じスピードナットのついていない車両がございます。その場合は同梱のナット&ワッシャーを使用して取付けて下さい。  
(写真⑤)リアビジョン本体裏側ビス穴位置にスペーサーをテープなどで固定します。  
(写真⑥)長い方を内側にしてモールをスペーサーに取付します。少し長めにカットして、全体になじます様にと取付けるときれいに仕上がります。  
(写真⑦)キット付属のM4X20mmボルト4本で、リアビジョン本体を取付します。  
注: 中央ボルトは取付しないで下さい。リアビジョンが破損する恐れがあります。

## 取付概要写真



写真①



写真②



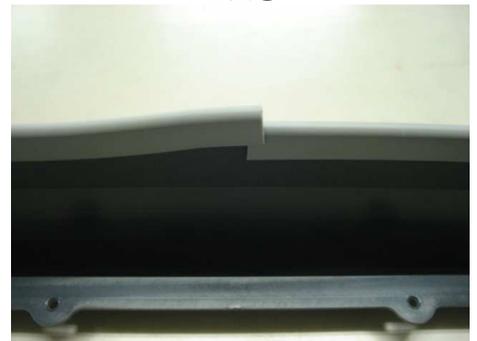
写真③



写真④



写真⑤



写真⑥



写真⑦

## リアビジョンルームランプ線

モニタールームランプ線はフロントルームランプ裏の配線に接続します。

- リアビジョンルームランプ線 赤線 → コネクター 青線
- リアビジョンルームランプ線 緑線 → コネクター 若草線
- リアビジョンルームランプ線 黒線 → コネクター 白/黒線

年式・グレード等で車両ハーネス線の色が異なる場合がありますので必ずテスターで確認して下さい。また簡易作業用の赤タップを同梱させて頂いてますが、配線の太さ、作業不良により、接触不良など発生する場合がございます。「お互いの配線を露出させ巻きつける」などの作業をおすすめします。この場合は配線ショートしないように必ずビニールテープなどで絶縁して下さい。